

今をときめく まちのあの人に 会いに行く

vol
23

川上 一望さん

海田町公衆衛生推進協議会会長

退職と同時に委員に就任 まちを支える活動スタート

「環

境」と「健康」をコミュニティで守るために発足した「公衆衛生推進協議会」は、43自治会の78名の委員で成り立っており、相互の密接な連携のもと、町民の公衆衛生に関する意識向上と、実践活動の促進を図るために活動しています。「公衆衛生」とは、そこに住む人たちの共通した努力目標であり、連帯感にもとづく地域ぐるみの活動があってこそ実現できるものだと考えています。

かつてサラリーマンとして働いていた私は、平成19年に会社を退職しました。それと同時に、地域の人に声をかけてもらい、同年4月に山畝自治会公衆衛生推進委員に就任。自治会の役を務める人が少なくなっていく中で、「自分にもできることがあるなら」と引き受け、その後は総務部副部長を、さらに理事及び副会長を務め、平成25年から会長職となって海田町の公衆衛生推進協議会を牽引しています。

この活動は目立つものではありませんが、まちの皆さんの安全な暮らしや快適な生活を支える大事な役割を果たしていると考えています。

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事内容から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

3月号では、海田町公衆衛生推進協議会で会長として活躍する川上 一望さんに、公衆衛生推進協議会がどんな活動をしているかや、まちづくりにかける思いについてお話を聞かせていただきました。



Profile

かわかみ・かずもち／海田町公衆衛生推進協議会会長。山畝自治会長や広島県地球温暖化防止活動推進員、海田町地球温暖化対策地域協議会副会長なども歴任。日本公衆衛生協会功労者ほか表彰歴多数。ヒマワリ栽培のボランティア団体「かいたのヒマワリ屋さん」代表も兼任。